



۱۰۰۰

۱۰۰۰

۱۰۰۰

۱۰۰۰

۱۰۰۰









隱元豆賦

星どかり竹^{まき}竹^{あし}あふ。杖^{つえ}うして月宮へははらんと。又さふは
小春^{こはる}を。何者^{なにもの}あらんと。松^{まつ}なる蔭^{かげ}子^この影^{かげ}。及^{およ}ばるもあつた
人^{ひと}氣^きしたく悚^{おそ}然^{ぜん}とる。狐^{きつね}組^{ぐみ}抄^{しやう}のうきをうかふ。や、又^{また}後^{あと}
月^{つき}影^{かげ}ふ。やめく。刀^{やいば}もつらふ。しゆ^{しゆ}の影^{かげ}がの影^{かげ}元^{もと}の依^よりて
來^き朝^{あさ}せし豆^{まめ}うらう。嗚^な呼^こ一寸^{いちじゆん}乃^{なり}垂^たりも。かみ乃^{なり}魂^{たま}とやら。二^に淺^{せん}乃^{なり}
杖^{つえ}も。而^{しか}淺^{せん}乃^{なり}さふ。ひなをさしと。まひる。葛^{くわ}又^{また}葉^は恒^{とこ}は。履^{はき}ひ。あさ
ふ。小^こ樹^{じゆ}も。なつた。まはらとく。且^{かつ}高^{たか}嶮^{けん}相^ああつらふ。何^{なに}ゆ
ま^まく。寒^{さむ}せし杖^{つえ}も。答^{こた}へ。あまひて。まはら。又^{また}杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。
吹^ふ風^{かぜ}も。まはら。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。
風^{かぜ}味^{あじ}と。まはら。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。

ふと。あふ。表^{あは}らう。まはら。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。
ま^ま者^{もの}欲^ほり。不^ふい。まはら。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。
乃^{なり}晦^{くわい}食^{じき}も。何^{なに}ゆ。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。
まはら。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。
色^{いろ}まはら。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。

春^{はる}の杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。杖^{つえ}も。



貪乏神表

有人零落世業之謀，尽彷徨躑躅，
欲往此路，又尋彼徑，予思不如過，
而改之心，自誓以為祭其文，予作
之，遂揮愚毫如左。

約常頂礼くまを多之神くもするも八百萬乃外能くしてあ
ましくねしむる乃内。こころをわかくしきくとも。ちく又定し
神宮をあらわす。只ま中を心にまいてわくおとし藏を下の福く
小神を侍りましく。此揮はらるるのまを清らるる。清まるとり

てあつたあふ。まろふま年信心乃神加護よや。操乏乃首年
帝のひておしもの心付く者も。親乃を事せしむる
い代乃忠言平よ送小日如遊星小魂とりの事。その心ま
乃親とれ。親又しをいまよましく。好しく其又増長ま
く。い代多るるまろふま。まかよ乃用進金ハ此の
らるる番路乃此千胸哉すく死の。其子ハ之恨くいしむ
れ。事しむる者ハ進む。其長残りて門自たも。果ハ
徐編のひく。急色は。いひ乃るふやう。傍金乃日合を金
ふく。猪竹策もたう。いひ。いひは。一階と打強外
地。屋を清道くましく。掃。まわ合乃信く。或者こ
も。まろふ。まろふ。打く。ま。元身内

五
五
四



